

本格的なイチゴ育苗環境をセットで導入。

ガイアナーサリー

イチゴの苗を自前でつくることは、生育の均一化が図れ、定植スケジュールが管理しやすくなるなど、様々なメリットがあります。イチゴ育苗プラント「ガイアナーサリー」は、育苗に必要なハウスと設備がフルセットになっているので、最適な栽培システムを一括導入することができます。

イチゴ育苗プラントの導入メリット

苗に
最適化された
環境構築

設備が
最初から
セットに

株数を決めて
計画的に
栽培できる

ガイアナーサリー システム概要

外張りフィルム

ナジジフィルムの採用で夏場の強い光線をハウス内で適度に散乱光に変えます。

ウルトラエースK

施肥・灌水の時間ならびに流量を作物の生育ステージに合わせて設定し、自動灌水します。

雨センサー

急な降雨を感知し、制御盤に伝えます。

防虫ネット

害虫の侵入を抑制します。

ロールエースA

自動巻き上げによって側窓を開閉します。温度と天候によって制御可能です。

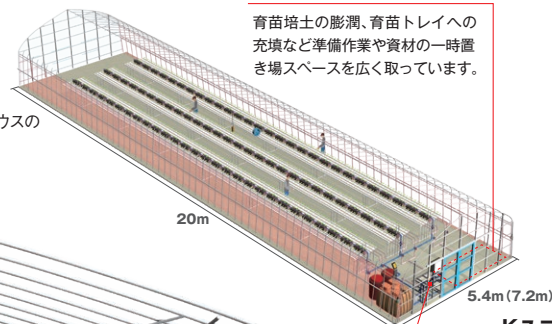
遮光カーテン (遮光率 約50~55%)

夏場の育苗ではハウス内が30℃を超える日がほぼ毎日のため、遮光します。

※イラストは間口7.2mハウスのイメージです。

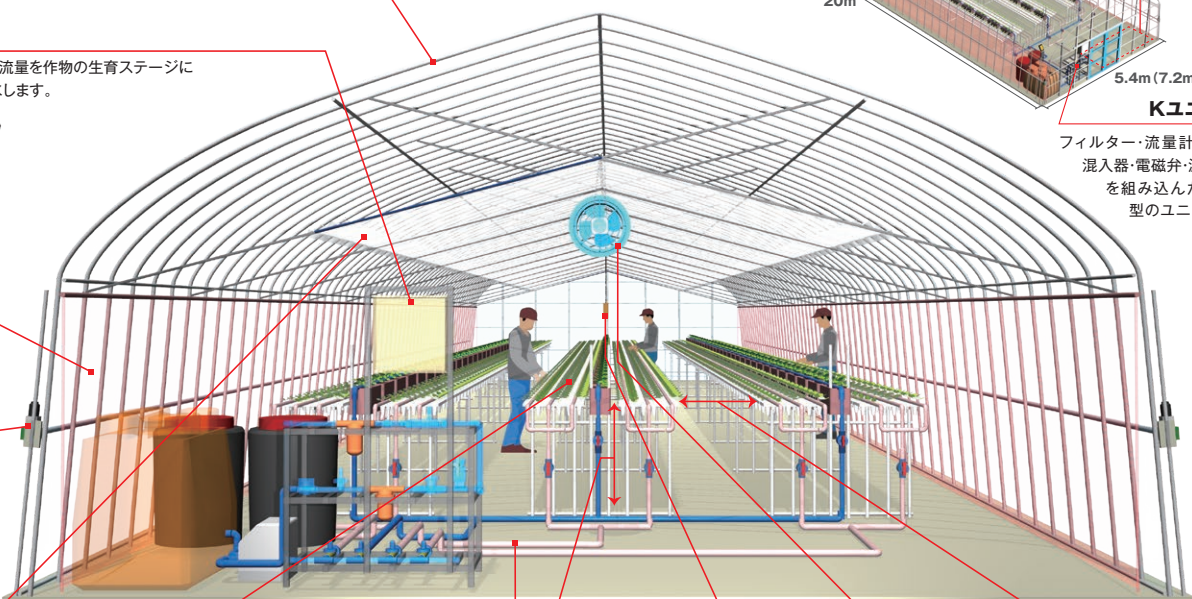
作業スペース

育苗培土の膨潤、育苗トレイへの充填など準備作業や資材の一時置き場スペースを広く取っています。



Kユニット

フィルター・流量計・液肥混入器・電磁弁・減圧弁を組み込んだ一体型のユニット。



点滴チューブ

●プランター(親株)用点滴チューブ10cmピッチ
●育苗トレイ用点滴チューブ7cmピッチ
株元への灌水となるため頭上灌水などと比べて病気の発生が少なくなります。

埋設配管

立ち上がりまでの配管を地中に埋めているため、作業の邪魔にならず効率よく作業ができます。

育苗ベンチ

作業をしやすいように地面から約100cmの高さに設計。

温度センサー

ハウス内の温度情報を収集し、制御盤に伝えます。

循環扇

高温多湿になりがちなハウス内の空気を循環。ハウス内環境を均一に保ちます。

通路

作業をしやすいようにベンチ間を約100cmの幅に設計。

